



THIS IS
MECENAT
2021



Ryota Higashi, Violin

東 亮汰
(ヴァイオリン)

© Ryu Matsuda

日本音楽コンクールから生まれた
フレッシュアーティスト

旋律の 向こう側へ

2022年 **2月19日** [土]

開場 13:30 / 開演 14:00

ニシザワいなっせホール

(伊那市生涯学習センター 6階)

全席指定 一般：1,500円 / 高校生以下：500円

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません。

※本コンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により特別料金に設定しています。

Program

第1部

ヴァイオリン・リサイタル (東 亮汰 & 亀井聖矢)

ドビュッシー：ヴァイオリン・ソナタ

フランク：ヴァイオリン・ソナタ

第2部

ピアノ五重奏 (ポローニア・クアルテット & 亀井聖矢)

ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲 第2番

※プログラムは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



Masaya Kamei, Piano

亀井 聖矢
(ピアノ)

Paulownia Quartet, String Quartet

**ポローニア
クアルテット**

(弦楽四重奏：東 亮汰、岸 菜月、堀内 優里、小林 未歩)

© 池上直哉 / サントリーホール

- 主催：伊那市、長野県、公益財団法人三井住友海上文化財団
- 主管：NPO法人クラシックワールド
- 後援：信濃毎日新聞社、中日新聞社、長野日报社、みのわ新聞社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合

- お問い合わせ・チケット販売 チケット発売日 11月8日(月)
- 伊那市生涯学習センター TEL.0265-78-5801
(長野県伊那市荒井3500番地1 いなっせ5階)
- ※新型コロナウイルス感染予防にご協力の上で会場ください。

三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第925回

このコンサートは(公財)三井住友海上文化財団の助成により開催しています。



日本音楽コンクール

毎日新聞社とNHKが主催する、国内において権威と伝統あるクラシック音楽のコンクールのひとつ。

東亮汰さんの演奏が持っている最大の魅力、それは「品性に満ちた歌」です。
若い演奏家らしい超越的テクニックも見事ですが、ソロでもクワルテットでも、
彼からにじみ出る品性の高さは他の若い演奏家からは聴けません。

推薦者：梅津 時比古（音楽評論家）



東 亮汰 (ヴァイオリン)

Ryota Higashi, Violin

1999年生まれ。横浜市出身。

第88回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞をはじめ、第65回全日本学生音楽コンクール小学校の部東京大会第1位、全国大会第2位及び横浜市民賞（聴衆賞）、第67回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会、全国大会第3位及び横浜市民賞、第35回かながわ音楽コンクール一般の部第1位など受賞多数。

プロジェクトQ・第15章に参加。トッパンホールランチタイムコンサート、NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。

桐朋学園の学生で結成したポローニア・クワルテットとしても活動している。

これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ハマのJACKオーケストラなどと共演。辻井伸行氏、三浦文彰氏が率いるARKシンフォニエッタ、反田恭平氏がプロデュースするジャパン・ナショナル・オーケストラに度々参加。これまでにヴァイオリンを森川ちひろ氏、室内楽を池田菊衛、磯村和英、岡本美智子、小池郁江、山崎伸子の各氏に師事。現在、辰巳明子氏に師事。2018、2019年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。2019年から2021年まで一般財団法人ITOHより1716年製A. Stradivariusを貸与される。特待生として桐朋学園大学音楽学部4年在学中。サントリーホール室内楽アカデミー第6期フェロー。2021年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。



亀井 聖矢 (ピアノ)

Masaya Kamei, Piano

2001年生まれ。4歳よりピアノを始める。

第88回日本音楽コンクールピアノ部門 第1位及び岩谷賞（聴衆賞）、増沢賞、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団

賞、第43回ピティナ・ピアノコンペティション特級 グランプリ及び聴衆賞、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞、第9回福田靖子賞、第6回アリオン桐朋音楽賞、他受賞。

飯守泰次郎氏、太田弦氏、大友直人氏、佐藤俊太郎氏、山下一史氏、渡邊一正氏の指揮で、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、千葉交響楽団、東京21世紀管弦楽団などと共演。

Bruno Leonardo Gelber, Maria Joao Pires, Rena Shereshevskaya, Jean-Marc Luisada, Dina Yoffe各氏等のレッスンを受講。

これまでに青木真由子、杉浦日出夫、現在、上野久子、岡本美智子、長谷正一の各氏に師事。

愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学。現在桐朋学園大学3年在学中。ロームミュージックファンデーション2021年度奨学生。



© 池上直哉 / サントリーホール

ポローニア・クワルテット (弦楽四重奏)

Paulownia Quartet, String Quartet

東 亮汰 (第1ヴァイオリン)、岸 菜月 (第2ヴァイオリン)
堀内 優里 (ヴィオラ)、小林 未歩 (チェロ)

桐朋学園大学並びに女子高等学校音楽科に在学する4名で2016年に結成。

学内の成績優秀者による第100回、第101回室内楽演奏会などに出演。第41回霧島国際音楽祭、ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン2021に参加。

桐朋学園大学・梅津学長の著書がドイツで翻訳・刊行された祝賀会でのゲスト演奏が、会場に集まった音楽関係者に好評を博し、学長より「ポローニア・クワルテット」と命名され、活動している。ポローニアとは、在籍する桐朋学園の「桐」を意味する。これまでに池田菊衛、磯村和英、山崎伸子の各氏に師事。ヴィルフリート・シュトレーレ、佐々木亮、塩貝みつるの各氏に指導を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第6期フェロー。